

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	仙台市ガス局		
事業所の名称	仙台市ガス局港工場		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港四丁目13番1号		
主たる事業	ガス業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	環境にやさしいクリーンエネルギーである天然ガスを原料とした都市ガスを製造する事業者として、自らの事業活動における環境負荷を最小限にする仕組みをつくり、定期的な見直し及び継続的な改善に努めます。 また、環境保全に関連する法規制を遵守するとともに、環境に影響を与える事故等の未然防止に努めます。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	5,283 t-CO ₂	基準原単位	17.44
		目標年度	2022 年度	目標排出量	5,124 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	3.00 %	削減率	3.03 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	5,336 t-CO ₂	排出原単位	18.11
			削減率	-1.01 %	削減率	-3.85 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの影響により、室内換気回数が増え、空調用都市ガス使用量が増加となった。また原単位の基礎となる生産数量についても、新型コロナウイルスの影響により供給量が減ったため減となり原単位についても削減率がマイナスとなった。				
	第2年度	2021 年度	排出量	5,348 t-CO ₂	排出原単位	18.12
			削減率	-1.24 %	削減率	-3.90 %
	排出量等の増減理由	航路の浚渫作業にともなう生産設備の運用変更により、液化天然ガス使用量が増となりCO2排出量増となりました。また原単位の基礎となる生産数量については新型コロナウイルスの影響を引き続き受けたことにより減少となり原単位の削減率がマイナスとなりました。				
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
		削減率	%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	93 %	目標年度	96 %
	第1年度	93 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。
第2年度	93 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。	
第3年度	%	実施状況の説明等		

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
窓の断熱性向上		実施済	
燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済	
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	仙台環境行動計画に基づく取り組みを実施	実施済
	廃棄物削減対策の実施	仙台市環境行動計画に基づき、リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用し、また、ごみの分別チェックシートを用いて分別状況を週一回確認し分別の徹底を図る等の取り組みを実施	実施済
	グリーン調達の実施	仙台市グリーン購入推進方針に基づく取り組みを実施	実施済
	ヒートアイランド対策の実施	工場構内の緑化の維持	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	中長期計画に基づく原単位を2019年度に2014年度比11%削減。また資源エネルギー庁から、省エネ法に基づく事業者クラス分け評価制度において3年連続(2017~2019)でSクラス(優良)として評価された。	実施済